

筑波大学新聞

第372号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699

E-mail
shinbun@
un.tsukuba.ac.jp

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- 避難学生向け日本語コース開講
- Bombs! ユニドル悲願の優勝
- 陸上高良大会新と自己新で優勝
- 県と大学 性的少数者への取り組み
- カスミ 春日エリアに無人店舗設置

特集

- 大学初ホームゲーム 6・7
- TSUKUBA LIVE! に密着
- ミニ特集
- 「大学なのか、森なのか」 3
- キャンパスの自然・生き物再発見

ウクライナの学生 11 人来日 「母国の将来 より良くしたい」



永田学長を表敬訪問したウクライナ人学生ら（9月9日、本部棟で）=寺尾優汰撮影

筑波大は、ロシアの軍事侵襲で学びの場を失ったウクライナ人学生の受け入れを進めている。第1期として受け入れが決まっていた20人のうち11人が9月21日まで、特別聴講生として来日した。同日には10人が永田泰介学長及び関係副学長を表敬訪問し、国際総合学類のキリリク・アンドリーさんが「一連の支援に大変感謝している」と謝意を述べた。（寺尾優汰比較文化学類3年、車谷郁美社会学類3年、2面に関連記事、4面に記者の声、12面に関連写真）

筑波大はウクライナから避難学生約50人を受け入れる予定で、今年6月に第1期の20人を決定。7月に2人、8月に7人、9月中旬に2人が来日し、同月下旬にも1人が来日予定だ。表敬訪問では、永田学長が学生らに「私たちは皆さんの味方だ。できることは何でも支援する」と語りかけた。筑波大にはロシア人学生も多く在籍していることにも触れ「彼らと同じ学生で今回の戦争への責任

を負担が軽減された。本紙の取材に対し、大井川知事は「性的少数者の人権保障には、法に基づく国の制度の見直しが必要だ。しかし、時間がかかるので、自治体からの動きで大きな流れを作ろうと考えた。近いうちに国政にも影響を与えよう期待する」と制度導入の意向を語った。茨城県とNPO法人「虹色ダイバーシティ」の調査によると、大阪府や群馬県など8府県を含む22自治体（7月1日時点）がパートナーシップ制度を導入している。大井川知事は市区町村、都道府県を問わず同制度を持つ全ての自治体との包括的な連携を目指している。「一度宣誓すればどこでも制度が適用される仕組みにしたい。茨城県が核となり、今回の佐賀県との協定を皮切りに、他県ともスピード感を持って連携していきたい」と意気込んだ。

「茨城県が核になりたい」と話す大井川知事（9月14日、茨城県庁で）=高元愛香撮影

「茨城県が核になりたい」と話す大井川知事（9月14日、茨城県庁で）=高元愛香撮影

性の多様性 SOGI/LGBT+

同制度は他の自治体に引越すすると無効になり、再申請にも手間がかかる点が課題だった。このため大井川知事は7月の全国



「茨城県が核になりたい」と話す大井川知事（9月14日、茨城県庁で）=高元愛香撮影

「茨城県が核になりたい」と話す大井川知事（9月14日、茨城県庁で）=高元愛香撮影

双峰祭 学外者も来場受け入れ 人数上限は5000人を維持

これを受け、学実委と大学は感染対策を検討。来場を事前予約制とし、当日はリストバンドを配布して来場者を管理する。また、検温・手指消毒、室内の換気の徹底などの対策を取ること、学外者も受け入れられる見通しが立った。来場者の1日の上限は5000人を維持する方針だ。



対面で開催されていた2019年の双峰祭は模擬店でにぎわった = 本紙編集部撮影

対面では、石の広場に設置する屋外ステージでの発表と各教室での展示や調理企画を実施する。同時開催のオンライン企画では、参加団体が事前に収録した演奏・公演の動画配信や物品販売をする。学実委委員長の青木颯汰さん（工芸2年）は「双峰祭は筑波大の一大イベントだ。盛り上がりは、地域住民の皆さんと学外の参加もあってこそだと思う。学生が力を注いだ発表や展示を多くの方に見ていただき、復活した双峰祭を楽しんでほしい」と話した。（及川翔人文学類3年）

筑波大生は自転車を一「人ストレス以外の何物でもない。移動中権」と呼ぶ。本紙第361号（2021年2月1日発行）の「キャンパスごぼ」で紹介した通りだ。この夏休み、その意味を、身をもって知った。ある日の夜、本紙編集部で用事を済ませて外に出ると、数時間前に停めたはずの自転車が見当たらない。周囲に自転車を盗まれた話をする、「自分も盗難した」と、盗難側になることが多いので、これから気をつけようという反応が、思った以上に多かった。筑波大生に、そして犯人に言いたい。「もっと人権問題に敏感になれ」

避難学生向け 夏季日本語コース開講 「日本語難しいが、頑張りたい」



現代日本社会についての講義を受けるウクライナ人学生ら(9月12日、大会館で) = 車谷郁実撮影

【一面参照】ウクライナからの避難学生向けに筑波大は8月3日、日本語コースを開講した。日本語教育を学ぶ大学院生や研究生10人が講師を務め、9月末までの平日、日本語の読み書きや会話の指導をしている。初めて日本語を学んだという人文学類のイェルモライエヴァ・ハンナさんは「自分がいる国の言語を知ることが大切だと思う。日本語は難しいが、頑張りたい」と話した。(加藤緑 生物学類1年、車谷郁実)

「1面参照」ウクライナからの避難学生向けに筑波大は8月3日、日本語コースを開講した。日本語教育を学ぶ大学院生や研究生10人が講師を務め、9月末までの平日、日本語の読み書きや会話の指導をしている。初めて日本語を学んだという人文学類のイェルモライエヴァ・ハンナさんは「自分がいる国の言語を知ることが大切だと思う。日本語は難しいが、頑張りたい」と話した。(加藤緑 生物学類1年、車谷郁実)



ウクライナでの生活や今後の展望を語る学生ら(9月6日、大会館で) = 加藤緑撮影

「明日誰が生き残るか分からない」
ウクライナで生活する学生ら。8月に来日するまでの2週間、私もそれを体験した。明日、誰が生き残るか分からない状況の中、地下室にベッドを運んで眠った。家族はまだ現地にいますと振り返る。

「明日誰が生き残るか分からない」
ウクライナで生活する学生ら。8月に来日するまでの2週間、私もそれを体験した。明日、誰が生き残るか分からない状況の中、地下室にベッドを運んで眠った。家族はまだ現地にいますと振り返る。

「明日誰が生き残るか分からない」
ウクライナで生活する学生ら。8月に来日するまでの2週間、私もそれを体験した。明日、誰が生き残るか分からない状況の中、地下室にベッドを運んで眠った。家族はまだ現地にいますと振り返る。

「明日誰が生き残るか分からない」
ウクライナで生活する学生ら。8月に来日するまでの2週間、私もそれを体験した。明日、誰が生き残るか分からない状況の中、地下室にベッドを運んで眠った。家族はまだ現地にいますと振り返る。

「明日誰が生き残るか分からない」
ウクライナで生活する学生ら。8月に来日するまでの2週間、私もそれを体験した。明日、誰が生き残るか分からない状況の中、地下室にベッドを運んで眠った。家族はまだ現地にいますと振り返る。

全入試で国籍指定外す

共テ利用は「情報I」必須

25年度入試から

筑波大は7月28日、令和7(2025)年度入学試験(25年4月入学及び秋入学)の変更点を発表した。全ての入試で国籍にとらわれない出願資格を設定し、外国の学校で教育を受けた学生の募集を拡大する。また、今年度の高校入学者から適用が開始された学習指導要領に対応し、大学入学共通テストを利用する入試で「情報I」を全員に課す。

筑波大では現在、外国籍とした入試がある。25年度入試からは、これを改め、全ての入試で国籍の定めをなくす。多様な学生を受け入れ、国際社会で活躍できる人材の育成を更

また、「情報I」の導入にあたり、25年度入試では浪人生への影響の大きさを考慮し、配点を低くするなど対応を検討している。大学入試センターは25年度入試に限り、浪人生向けに「旧情報I」を出題することを決めており、筑波大の志願者も「情報I」の代わりに選択できる。

また、「情報I」の導入にあたり、25年度入試では浪人生への影響の大きさを考慮し、配点を低くするなど対応を検討している。大学入試センターは25年度入試に限り、浪人生向けに「旧情報I」を出題することを決めており、筑波大の志願者も「情報I」の代わりに選択できる。

オンライン合わせ9000人参加 大学説明会 3年ぶり対面

受験生のための筑波大学説明会が8月6、7、11日の計3日間、3年ぶりに対面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ35002人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた



二階建ての建物(ウクライナ)によって破壊された建物(ウクライナ)の提供

二階建ての建物(ウクライナ)によって破壊された建物(ウクライナ)の提供

二階建ての建物(ウクライナ)によって破壊された建物(ウクライナ)の提供

二階建ての建物(ウクライナ)によって破壊された建物(ウクライナ)の提供

二階建ての建物(ウクライナ)によって破壊された建物(ウクライナ)の提供

二階建ての建物(ウクライナ)によって破壊された建物(ウクライナ)の提供

二階建ての建物(ウクライナ)によって破壊された建物(ウクライナ)の提供

二階建ての建物(ウクライナ)によって破壊された建物(ウクライナ)の提供

二階建ての建物(ウクライナ)によって破壊された建物(ウクライナ)の提供

二階建ての建物(ウクライナ)によって破壊された建物(ウクライナ)の提供

イノフェス今年も開催 新世界の始まり 技術と音楽で

「テクノロジーと音楽で新世界の始まり」技術と音楽で

「テクノロジーと音楽で新世界の始まり」技術と音楽で

INNOFES J-WAVE INNOVATION WORLD FESTA 2022
「テクノロジーと音楽で新世界の始まり」技術と音楽で



筑波大生に構内を案内される高校生ら(8月11日、石の広場で) = 及川千翔撮影

筑波大生に構内を案内される高校生ら(8月11日、石の広場で) = 及川千翔撮影

筑波大生に構内を案内される高校生ら(8月11日、石の広場で) = 及川千翔撮影

筑波大生に構内を案内される高校生ら(8月11日、石の広場で) = 及川千翔撮影

「大学なのか、森なのか」 キャンパスの自然・生き物 再発見

「大学なのか、森なのか」。そう称される筑波キャンパス。敷地面積は約250万㎡で、東京ディズニーランドと東京ディズニーシーの合計面積の2.5倍だ。その半分近くを樹木などの緑地が占める。この環境は、うやうややり出されたのか。どんな動植物がいるのか。生き物好きの学生や教員に取材した。涼やかな風が気持ちいい季節。皆さんもキャンパスのネイチャーウォッチングを楽しんではいかが。(及川千翔)人文学類 車谷郁美 || 社会学類、加藤緑 || 生物学類、勝山穂乃香 || 化学類

50年かけてできた森

樹種は200超

「かえり通り」「あけぼのすき通り」「けやき通り」……。筑波キャンパスを環状に結ぶループ道路には、植えられた街路樹の名にちなんだ通り名がつけられている。メタセコイア(あけぼのすき)が黄金色に色づくまであと1カ月ほどだ。キャンパスに植栽された樹種は200種を超え、

デストリアンデッキ沿いでもサクラやイロハモミジなどが楽しめる。こうした豊かな緑は計画的に作られた。筑波大建設前の1967年当時、敷地面積の約8割はマツやコナラの林で、残りは水田や耕作地だった。

施設整備課によると、施設の敷地面積の3分の1を恒久緑地にする筑波研究学園都市の整備方針に従い、筑波キャンパスの整備が進められた。当時の方針をまとめた「筑波大学の施設・環境計画」では「多様性のある緑化」を目指したとしており、73年からの10年間に学内の苗圃で樹木約25万本が育てられ、それが植栽に使われた。

一方、松美池の下池を囲む雑木林と睡眠医学研究棟の駐車場周辺の雑木林は当時のままだ。開学から50年を経て現在の森になった筑波キャンパス。だが、寿命を迎えつつある樹木も出てきた。同課の担当者は「ここ10年で、枝の落下や台風後の倒木が目立つようになった」と話す。今後は、一部で植え替えなども迫られるが、費用などが課題となる。

推しの生き物

「森を楽しむにしても、広大なキャンパスのどこに目を向けていいのか、素人には分かりにくい。推しの動植物を筑波大の野生動物研究会(やどけん)のメンバーと廣田充教授(生環系)に聞いた。

カワセミ

青い背中と腹部のオレンジが鮮やかで、飛ぶ宝石と呼ばれるカワセミ。その宝石が、筑波キャンパスは見やすい場所らしい。「松美池では支柱に止まっていることが多い。10分程度動かないで池を眺



手に捕まえる。英語名は Kingfisher (魚捕りの名手)。水辺に生息するが、学内では松美池や天久保池で一年中観察できる。鳴き声は、自転車の甲高いブレーキ音も似て「ピーピーピー」など聞こえる。

明日カワセミを見つけたくなるクイズ!
カワセミはオスとメスで違いがあります。それは何? (答えは3面の右下)

- ① くちばしの色
- ② 目元の色

ハルガヤ

厄介者だが癖になる香り。廣田教授の一押しは外来種のハルガヤだ。筑波キャンパスに広く生息するイネ科の植物で、牧草地やゴルフ場では厄介者として扱われることも多い。花粉症の原因にもなる。だが、春になると桜餅のような甘い香りを出すという。筑波大は毎春、伸び過ぎないように、草地を刈り込んでいる。廣田教授は「刈り込まれて強くなった甘い香りを嗅ぐと春を感じる。サクラが終わるころから学内の草地で見つけやすくなる」と話した。

相次ぐ新種の発見

筑波キャンパスでは、クモの新種も相次いで見つかった。九州大学院博士課程2年の鈴木佑弥さんは筑波大在学中にクモの新種を3種類も発見した。このうち2種類は筑波キャンパスで最初に見つけたものだ。鈴木さんの新種発見第1



その後、既知のクモとの違いを3年かかって調べ、新種と突き止めた。19年12月に論文を発表し、ムナアカナルコグモと名付けた。同年、鈴木さん

今後見つかる可能性

鈴木さんは「筑波キャンパスに松美池や天久保池など湿地が残っていたから、新種のクモを発見できた。湿地が好きでクモの研究は進んでおらず、今後筑波キャンパスで新種が見つかる可能性がある」と話す。

サルスベリ

今が見ごろ。夏から秋にかけて、ひだりのピンク色の花を咲かせる。高さが数メートル程度の中低木で、スチューデントプラザや総合研究棟Bの脇などにもある。



エドモントザヤ総合研究棟Bの脇などにもある。枝の生葉にははらつきがあり、100日間程度も次々に

カニムシ

謎多き節足動物。園内に生息するキバチ類の生態などについて、新たな知見も得られている。ただ、無断で昆虫、植物、木の実などを採取することは禁止されている。教育や研究で利用したい場合は、植物見本園の管理棟スタッフまで相談してほしいと話す。

秋は、さまざまな色づき実が楽しめる。見本園をはじめ筑波キャンパスにも植えられているスダシヤやマテバシイの実が、ほのかな甘味があり、

森の中の「森」植物見本園

森と称される筑波キャンパスの中でも、まさしく「森」と言えるのが、北地区に位置する山岳科学センター植



物見本園だ。面積2.2万㎡で国内産樹木類を中心に、約300種類が集められている。園内は、「ごんべりの森」「かしのまき」「関東の雑木林」「ぬますぎの森」など、植物の種類や生息場所を基に、16のゾーンが設

けられている。海辺の常緑樹のトベラやハマナスのように、つがいで自由を訪れることもできるため、学内の憩いの場になっている。また、多様な樹木が育てられている。植物見本園の「うみべの森」(9月21日)、「うみべの森」(9月21日)、「うみべの森」(9月21日)など、園内にはさまざまな生き物や菌類の研究が

園内の担当者は「実際園内に生息するキバチ類の生態などについて、新たな知見も得られている。ただ、無断で昆虫、植物、木の実などを採取することは禁止されている。教育や研究で利用したい場合は、植物見本園の管理棟スタッフまで相談してほしい」と話す。

園内の担当者は「実際園内に生息するキバチ類の生態などについて、新たな知見も得られている。ただ、無断で昆虫、植物、木の実などを採取することは禁止されている。教育や研究で利用したい場合は、植物見本園の管理棟スタッフまで相談してほしい」と話す。

廣田教授に聞く 筑波大の自然

筑波大の豊かな緑は学生の学びにどう活かされているのか。学内の自然環境をどう評価するのか。陸上植物の生態を研究する廣田充教授に聞いた。



「これは、学生の実践的な学びにもつながっている。その植物が何かを見分ける「種の同定」の授業では、学内を歩いて実際に植物を見に行く。学生には、葉や花の形を「見て」「触れて」、匂いを「嗅いで」、葉を「味わって」、その特徴を覚えてもらう。こうした体験を通じた学びは筑波キャンパスならではの経験から、私自身、管理された自然にも興味を持つようになった。学内の緑を利用し、多様性を保ちながら自然と人が共存していく研究を進めたい。

学生の学びの助けに

明日カワセミを見つけたくなるクイズ!
答え① くちばしの色
② オスは上下とも黒で、メスは上が黒、下が赤。

記者の声



車谷郁実

取材を断られるかもしれないと、つらい体験を話したくない学生もいるかもしれないと、思っていた。だが、取材に訪れた日本語コースの授業後、話を聞きたいと申し出る。全員が快諾してくれた。

ウイクトリア・シビツカさんは日本語で対応してくれた。子供の頃にアニメを見て日本語や

「戦争は絶対に起こしてはいけない。戦争を経験した人にとって、物理的、精神的な傷を生み出すだけだ。ロシアのウクライナ侵攻を巡り、筑波大のロシア人留学生とウクライナ人留学生を取材し、心からそう思った。」

本紙第371号(7月25日発行)では、ロシア人留学生3人(以下「ロシア人」)は国に帰れずに取材し、「戦争が早く終わってほしい」という思いは共通していることを伝えた。そのうち、日本文化や移民政策を学び、博士号取得を目指すロシア人留学生とウクライナ人留学生の取材し、心からそう思った。

本紙第371号(7月25日発行)では、ロシア人留学生3人(以下「ロシア人」)は国に帰れずに取材し、「戦争が早く終わってほしい」という思いは共通していることを伝えた。そのうち、日本文化や移民政策を学び、博士号取得を目指すロシア人留学生とウクライナ人留学生の取材し、心からそう思った。

戦争は何も生まない 両学生の今伝え続ける

露のウクライナ侵攻

「戦争は絶対に起こしてはいけない。戦争を経験した人にとって、物理的、精神的な傷を生み出すだけだ。ロシアのウクライナ侵攻を巡り、筑波大のロシア人留学生とウクライナ人留学生を取材し、心からそう思った。」

本紙第371号(7月25日発行)では、ロシア人留学生3人(以下「ロシア人」)は国に帰れずに取材し、「戦争が早く終わってほしい」という思いは共通していることを伝えた。そのうち、日本文化や移民政策を学び、博士号取得を目指すロシア人留学生とウクライナ人留学生の取材し、心からそう思った。

筑波時評

国土交通省の有識者会議がJR各社の赤字ローカル線の見直しを提言したことが話題になっている。1日当たりの1日平均乗客数を表す輸送密度が1000人未満などの条件を満たす場合、自治体の費用負担による存続やバスなどへの転換に向けたJRと自治体の協議を促す内容である。

JRの不採算路線の廃止は今に始まった話ではない。国鉄再編時には多くの路線が廃止された。しかし、マイカー普及と地方の過疎化、そして人口減少時代を迎え、輸送密度の低い路線は増えており、新幹線や都市部

「戦争は絶対に起こしてはいけない。戦争を経験した人にとって、物理的、精神的な傷を生み出すだけだ。ロシアのウクライナ侵攻を巡り、筑波大のロシア人留学生とウクライナ人留学生を取材し、心からそう思った。」

本紙第371号(7月25日発行)では、ロシア人留学生3人(以下「ロシア人」)は国に帰れずに取材し、「戦争が早く終わってほしい」という思いは共通していることを伝えた。そのうち、日本文化や移民政策を学び、博士号取得を目指すロシア人留学生とウクライナ人留学生の取材し、心からそう思った。

赤字ローカル線 コロナ禍で見直し拍車 採算性に限らぬ議論を

た。しかし、マイカー普及と地方の過疎化、そして人口減少時代を迎え、輸送密度の低い路線は増えており、新幹線や都市部

「戦争は絶対に起こしてはいけない。戦争を経験した人にとって、物理的、精神的な傷を生み出すだけだ。ロシアのウクライナ侵攻を巡り、筑波大のロシア人留学生とウクライナ人留学生を取材し、心からそう思った。」

本紙第371号(7月25日発行)では、ロシア人留学生3人(以下「ロシア人」)は国に帰れずに取材し、「戦争が早く終わってほしい」という思いは共通していることを伝えた。そのうち、日本文化や移民政策を学び、博士号取得を目指すロシア人留学生とウクライナ人留学生の取材し、心からそう思った。

反射鏡

読む本の探し方は?

「いつか読んでしまおう」スマートフォン。秋の夜長は、それを本に替えるチャンスかも知れない。筑波大生はどんな本を読んでいるのか。どう探しているのか。中央図書館前などで聞いた。(寺尾優汰Ⅱ比較文化学類3年、加藤緑Ⅱ生物学類1年、勝山穂乃香Ⅱ化学類1年)

【比文4年・女性】 まれ、中学生の頃からずっと読んでいます。村上春樹が好きで、本屋で新作を見つけたら買ってしまいます。彼の独特な比喩表現に引き込まれます。

【専専2年・女性】 好きな作家が書いた本を読みたいことが多い。村上春樹が好きで、本屋で新作を見つけたら買ってしまいます。彼の独特な比喩表現に引き込まれます。

【比文4年・女性】 まれ、中学生の頃からずっと読んでいます。村上春樹が好きで、本屋で新作を見つけたら買ってしまいます。彼の独特な比喩表現に引き込まれます。

【専専2年・女性】 好きな作家が書いた本を読みたいことが多い。村上春樹が好きで、本屋で新作を見つけたら買ってしまいます。彼の独特な比喩表現に引き込まれます。

【専専2年・女性】 好きな作家が書いた本を読みたいことが多い。村上春樹が好きで、本屋で新作を見つけたら買ってしまいます。彼の独特な比喩表現に引き込まれます。

【専専2年・女性】 好きな作家が書いた本を読みたいことが多い。村上春樹が好きで、本屋で新作を見つけたら買ってしまいます。彼の独特な比喩表現に引き込まれます。

【専専2年・女性】 好きな作家が書いた本を読みたいことが多い。村上春樹が好きで、本屋で新作を見つけたら買ってしまいます。彼の独特な比喩表現に引き込まれます。

【専専2年・女性】 好きな作家が書いた本を読みたいことが多い。村上春樹が好きで、本屋で新作を見つけたら買ってしまいます。彼の独特な比喩表現に引き込まれます。



イラスト=寺尾優汰(比較文化学類3年)

死刑制度、どう考える

2008年に起きた秋葉原無差別殺傷事件の死刑囚に今年7月、刑が執行された。内閣府による世論調査では、死刑容認率が8割を超える状況が20年近く続く。一方、経済協力開発機構(OECD)加盟38カ国のうち死刑制度を維持している国は日本、米国、韓国の3カ国だけだ。その韓国でも20年以上、死刑は執行されていない。筑波大生は死刑制度についてどう考えているのか。中央図書館前などで聞いた。(寺尾優汰Ⅱ比較文化学類3年、高元愛香Ⅱ心理学類2年)

【教育3年・女性】 更生への道筋を立ててあげたい。たぶん国家でも人を殺す権利はあってはならないと思う。凶悪犯罪者で、死にたいがゆえに罪を犯す人であっても殺すのではなく、更生への道筋を立ててあげたい。

【社工3年・女性】 死刑は国家権力による殺害である。更生への道筋を立ててあげたい。たぶん国家でも人を殺す権利はあってはならないと思う。凶悪犯罪者で、死にたいがゆえに罪を犯す人であっても殺すのではなく、更生への道筋を立ててあげたい。

【人文2年・男性】 死刑には裁判から執行までの大きな経費がかかる。終身刑に比べて、更生への道筋を立ててあげたい。

【国際4年・男性】 死刑廃止には賛成だが、西欧諸国が廃止しているから日本も廃止するというのが論法には反対だ。国家の法体系はその国の文化に合わせて発展してきたものだ。民意にそぐわない法が出来上がることを危惧する。

【人文2年・男性】 死刑には裁判から執行までの大きな経費がかかる。終身刑に比べて、更生への道筋を立ててあげたい。

【国際4年・男性】 死刑廃止には賛成だが、西欧諸国が廃止しているから日本も廃止するというのが論法には反対だ。国家の法体系はその国の文化に合わせて発展してきたものだ。民意にそぐわない法が出来上がることを危惧する。

Bombs! 悲願の優勝

集大成のステージに虹かける

大学対抗女子大生アイドル「Bombs!」が会場観客投票、オンライン観客投票、審査員の評価点の全てで1位となり、全国53チームの頂点に立った。Bombs!は五つの審査項目のうち、ダンスと表現力の合計点が最も高いチームに送



18人それぞれの色でステージに虹をかけた(8月21日、NHKホールで)

られるベストパフォーマンスも受賞した。Bombs!は決勝の参加チームで最多の18人が登場。「Bombs!」の口ゴ入りの白スカートにジャケット姿で登場し、持ち時間8分、「Jewels」(仮面女子)、「ありえんほどライバー」(i☆Ris)、「JAPANAFLIGHT」(JAPANA RIZM)、「NIJIIRO ROAD☆」(SUPER☆GIRLS)の4曲を披露した。

「夏」をテーマに開催 筑波大吹奏楽団の第87回定期演奏会が8月24日にバホール(つくば市吾妻)で開かれた。テーマは夏。約400人の聴衆が2時間にわたり、夏らしい10曲の

演奏を楽しんだ。第一部は「サーカスハットマーチ」(奥本伴在作曲)で明るく暑さを感じ、海の静けさを醸し出し、雄大な曲を表現した全3楽章の大作「BLUE HORIZONS」(フランコ・チェザリーニ作曲)などを披露した。

幅広い層に知られる曲をそろえた第二部では、「千と千尋の神隠し」(久石譲作曲)や、野球応援の定番曲「JABBERLOOPY」(岸本亮作曲)などを奏でた。「千と千尋の神隠し」の登場人物の衣装を着た指揮者や、

野球場をかぶり、タオルを肩に掛けて野球場の観客に扮した団員が会場を盛り上げ、カラフルな照明で観客を魅了した。指揮を務めた櫻井陽さん(知識3年)は「今年も新人生が54人と例年より多く入団し、楽器ごとの音量の調整が難しかった。本番では指揮台から団員の楽しそうな表情が見え、うれしかった」と話した。(太田碧川芸術専門学群2年、12面に関連写真)

フィルム映画上映会

1970～80年代に思いはせる

筑波大で制作されたフィルム映画を上映する「筑波大学フィルム映画上映会」が8月28、29日に6A棟で開かれ、延べ28人が来場した。1970～80年代に筑波大生が自主制作した映画

を上映されたのは、筑波大を舞台に女子学生の恋愛模様や友情を映した作品などで、石原さんが卒業生から集めた。筑波大やその周辺の映像もあり、2000年まで天久保にあったジャズ喫茶や古いバス停、今と同じ5C棟の外観などが観客を引き付けた。フィルム映写機を使っての上映では、



フィルム映写機で上映された作品(8月28日、6A棟で)

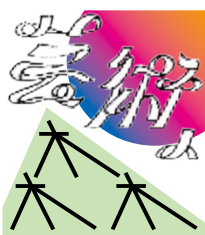
上映されたのは、筑波大を舞台に女子学生の恋愛模様や友情を映した作品などで、石原さんが卒業生から集めた。筑波大やその周辺の映像もあり、2000年まで天久保にあったジャズ喫茶や古いバス停、今と同じ5C棟の外観などが観客を引き付けた。フィルム映写機を使っての上映では、

代表の張山紗彩さん(日4年)は、「貴重な機会をいただいた。今よりも撮影や編集が技術的に難しい時代に、映画作りに真摯に向き合う学生の姿が作品から伝わった」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

「 Ride the Chariot」の2曲目「Take me home, Country roads」は英語で軽やかに歌われた。最後に、国歌「乾杯!」を声高々に歌い上げ、会場は拍手に包まれた。84年にメンネルコール3期生の清水孝彦さんにより作られた、歌い継がれてきた曲だ。最後のフレーズ「乾杯!」

低音のハーモニー響かせ

青い法被を身にまとった8人の団員がアカペラで力強く、時にしっとりと低音を響かせる。背景に書かれた「め組」の文字は、江戸時代の町火消しと男声合唱団「メンネルコール」の頭文字をかけた趣向だ。



男声合唱団「メンネルコール」

静まり返った真暗な会場に「エンヤ〜エンヤ〜」と声が響くと、舞台がぱっと明るくなった。幕開けは宮城県の舟漕ぎの民謡「斎太郎節」(竹花秀昭編)だ。主旋律を重ねてエンヤオットのフレーズ

集「秋の瞳」に収められた一作に、松下耕が曲をつけた。「かなしみはしづかにたまたま」というフレーズで静かに始まる。中盤に差し掛かると音量が徐々に強くなり、重厚な声色に緊張が高まっていく。「じゅんへ」ともゆるやかに

2度目は中盤の盛り上がり際立つように1度目よりも静かに歌ったと語った。余韻に響く中、4曲目「Ride the Chariot」の2曲目「Take me home, Country roads」は英語で軽やかに歌われた。最後に、国歌「乾杯!」を声高々に歌い上げ、会場は拍手に包まれた。84年にメンネルコール3期生の清水孝彦さんにより作られた、歌い継がれてきた曲だ。最後のフレーズ「乾杯!」

杯!乾杯!メンネルコール」で、四重奏のハーモニーを響かせ、コンサートを美しく締めくくった。代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモニーなど、できることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

「 Ride the Chariot」の2曲目「Take me home, Country roads」は英語で軽やかに歌われた。最後に、国歌「乾杯!」を声高々に歌い上げ、会場は拍手に包まれた。84年にメンネルコール3期生の清水孝彦さんにより作られた、歌い継がれてきた曲だ。最後のフレーズ「乾杯!」

静まり返った真暗な会場に「エンヤ〜エンヤ〜」と声が響くと、舞台がぱっと明るくなった。幕開けは宮城県の舟漕ぎの民謡「斎太郎節」(竹花秀昭編)だ。主旋律を重ねてエンヤオットのフレーズ

集「秋の瞳」に収められた一作に、松下耕が曲をつけた。「かなしみはしづかにたまたま」というフレーズで静かに始まる。中盤に差し掛かると音量が徐々に強くなり、重厚な声色に緊張が高まっていく。「じゅんへ」ともゆるやかに

2度目は中盤の盛り上がり際立つように1度目よりも静かに歌ったと語った。余韻に響く中、4曲目「Ride the Chariot」の2曲目「Take me home, Country roads」は英語で軽やかに歌われた。最後に、国歌「乾杯!」を声高々に歌い上げ、会場は拍手に包まれた。84年にメンネルコール3期生の清水孝彦さんにより作られた、歌い継がれてきた曲だ。最後のフレーズ「乾杯!」



マスク越しにも声を響かせる団員ら(8月24日、バホールで)

「 Ride the Chariot」の2曲目「Take me home, Country roads」は英語で軽やかに歌われた。最後に、国歌「乾杯!」を声高々に歌い上げ、会場は拍手に包まれた。84年にメンネルコール3期生の清水孝彦さんにより作られた、歌い継がれてきた曲だ。最後のフレーズ「乾杯!」

杯!乾杯!メンネルコール」で、四重奏のハーモニーを響かせ、コンサートを美しく締めくくった。代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモニーなど、できることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

「 Ride the Chariot」の2曲目「Take me home, Country roads」は英語で軽やかに歌われた。最後に、国歌「乾杯!」を声高々に歌い上げ、会場は拍手に包まれた。84年にメンネルコール3期生の清水孝彦さんにより作られた、歌い継がれてきた曲だ。最後のフレーズ「乾杯!」



齋藤 一 准教授

イギリス文学・文化理論

人文社会系・准教授。筑波大学大学院文芸・言語研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。帯広畜産大講師などを経て、2009年より現職。

「 Ride the Chariot」の2曲目「Take me home, Country roads」は英語で軽やかに歌われた。最後に、国歌「乾杯!」を声高々に歌い上げ、会場は拍手に包まれた。84年にメンネルコール3期生の清水孝彦さんにより作られた、歌い継がれてきた曲だ。最後のフレーズ「乾杯!」

杯!乾杯!メンネルコール」で、四重奏のハーモニーを響かせ、コンサートを美しく締めくくった。代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモニーなど、できることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)



『ミメシス』 エーリッヒ・アウエルバッハ著

北北海道には入学できず、札幌市の隣、今はすっかり観光地になった小樽市にある小樽商科大学に入学した。授業は適度にやり過ぎ、軽音楽部で得意のベースを弾く気にもなれず、なんとなく入学した英語部で日々を過ごしていた。やがて勝ち負けがはつきりしているイベントにハマり、相手に勝つためのエビデンス(証拠)となる英語資料を山ほど読んでいた。原発が爆発したら人が〇万人死ぬから、お前らの議論だと△千人しか死なないから俺らの勝ちといったような議論

夏から秋になり、涼しくなると、空や風の雰囲気も変わってくる。高々と登んだ秋空に浮かぶ雲は、なんとも爽やかだ。「秋高し」(鱒雲)などの季節語もある。(島崎寛永II人文学類3年、写真も)



筑波大初のホームゲームイベント TSUKUBA LIVE! に密着



筑波大アスレチックパートナーメント(AD)主催のホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」第1回が8月7日に開催された。大学スポーツのモデルとなることを目指したイベントで、日本体育大を筑波キャンパスに招き、バスケットボールと水球の試合を行った。ハーフタイムには学生団体などがパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げた。有志学生が運営にも携わり、筑波大を挙げてのイベントになった。ADは今後も継続して開催する予定だ。第1回の成果と課題を踏まえて。(細井真生 Ⅱ人文学類、天野隼太、寺尾優汰 Ⅱ比較文化学類、川上真生、小栗あおい Ⅱ社会学類、加藤緑 Ⅱ生物学類)

目指すは大学全体の盛り上がり

「TSUKUBA LIVE!」や胸の高まりを表した。観客には、夏らしい服装として白いドレスコードが推奨された。永田恭介学長も奮闘、文化を作る。試演、学生、教職員など延べ2200人が観客席から声援を送った。大学全体で盛り上がる全米大学体育協会(NCA)の所属大学が行っているようなホームゲームイベントを目指している。第1回のテーマは「Summer Tuun」が盛り上がった。夏のわくわく感があふれた。



相手選手をかわしゴールに迫る三谷(8月7日、中央体育館で) = 川上真生撮影

白熱の試合

バスケットボールの試合は中央体育館で行われた。筑波大は6月の関東大学新人戦準決勝で日本体育大に70-91で敗れていた。リベンジに燃えた筑波大だったが、第3クォーターに逆転を許し、69-79で敗れた。選手は新型コロナウイルス感染症対策として、マスクを着用してプレーした。

第1クォーターは試合開始1分、浅井修伍(体専4年)のシュートが外れるも、リバウンドをキャプテンの中田嵩基(同4年)が奪って先制した。その後も得点を重ね、24-16とリードして第2クォーターへ。開始1分に浅井修伍の弟の浅井英矢(同2年)がゴール下からシュートを決めると、同3分までに筑波大が3連続得点した。その勢いのまま43-33とリードし、試合を折り返した。第3クォーターは、開始直後から相手に流れを奪われた。浅井修伍が立て続けに2ゴールを決めるなど反撃したが、20分6秒の身長を誇る日本体育大のムトンボジャンピエールにリバウンドをこごとく奪われ、50-55と逆転を許した。第4クォーターの筑波大は、開始10秒で浅井英がシュートを決め、流れを取り戻した。長身のムトンボを意図し、外側から3Pシュートを狙う作戦も功を奏した。残り3分40秒で三谷吉司朗(同3年)が3Pシュートを決め、67-67の同点に追いつく。しかし、その後は相手に連続ゴールを許し、69-79で敗戦した。

日本体育大に惜敗

中田は「後半はシュートの成功率が上がらず、負けてしまった。しかし、コロナ禍で無観客の試合が多い中、一つ一つのプレーに観客の反応があり、やりがいを感じた」と話した。

水球

水球の試合は屋外プールで行われた。日本体育大は1998年から日本学生選手権で連覇を続けている強豪だ。序盤からリードを許した筑波大は、第3ピリオドで逆転したが、第4ピリオドで再び逆転を許し、12-15で敗戦した。水球は1チーム7人。1次回は障害のある人でも入場しやすい会場づくりをしたい」と話した。



試合前に円陣を組むメンバー(8月7日、屋外プールで) = 天野隼太撮影

第3ピリオドは、開始26秒と同一分3秒に竹内が連続得点を決め、2点差をつけた。その後、相手キャプテンの宮澤拓夢に3点を奪われたが、筑波大もキャプテンの眞板悠貴(同4年)と嶋本がゴールを奪い、11-10とリードを守った。だが、第4ピリオドに入ると、開始から連続で5点を奪われた。筑波大は試合時間残り3秒で大角が1点返すも12-15で敗れた。この日の試合を統括した水泳部水球部門主務の赤羽根直河(同4年)は「普段の試合の緊張感に加え、筑波大のために戦っているという緊張感があった。ホームゲームの力で、強敵相手に接戦に持ち込めた。良い試合ができた」と振り返った。

普段見られぬコラボも



パフォーマンスをするアーティストとダンスの選手ら(8月7日、屋外プールで) = 小栗あおい撮影

「Bombers」のメンバーがコートの周りに立ち、ハリスを叩いたり振ったりしてバスケットを応援。観客もBombersのメンバーに合わせてハリスを動かして、会場の熱気が高まった。また第1、第2クォーター間には、ダンスサークル「Purpleume」が演奏に合わせパフォーマンスをするアーティストとダンスの選手ら(8月7日、屋外プールで) = 小栗あおい撮影

舞台裏に迫る

運営メンバーと当日スタッフに、参加した経緯や思いを語ってもらった。

運営メンバー

◆リベンジの思い原動力

稲生桜乃(障害2年)は「事務局・会場の会場担当スタッフとして、観客の配置や会場内外の動線を決め、会場の大きさを巻き戻して配置図を作成。他の運営メンバーと話し合い、微調整を繰り返した。」

チームの認識

運営チームの全体統括と「制作進行」のチームを務めた菊池月(体専PI年)は、3月の第1回開催延期がショックだったという。「学群生時代は体操部



前日リハーサルで指示を出す菊池さん(8月6日、中央体育館で) = 川上真生撮影

バスケットボールのハーフタイムで行われた体操部のパフォーマンスは、「炭酸ソーダがはじける」をコンセプトにした。Gボールを上下に上げ下げする動きで「はじける泡」を表現してもらったという。

学生パフォーマンス

ホームゲームを盛り上げたのが、試合のオープニングやハーフタイムに繰り広げられた、有志学生や八つの学生団体によるパフォーマンスだ。

バスケットボールのオー

タイムアウト中は、アイドリコーポレーションがダンスを披露し、ダンスサークル「コスミック」も途中から加わった。縦4枚、横6枚の紙の上に、その反動で水しぶき

3人はメガホンを縦に持ったまま水面で上下に動き、その反動で水しぶき

原動力になったのが「3月の第1回延期のリベンジがしたい」という思いだった。イベント当日、配置図のミスが見つかるなどのトラブルもあったが、「開催できてよかった」と話した。障害科の学を専門的に学んでおり、菊池さんは「自分たちで

作り上げたイベントを、観客が楽しんでくれてうれしかった。一方、「Summer Tuun」に「制作進行」の演者として参加できることに感じた。次回には全員パフォーマンスのコンセプトを決め、学生団体にも対

「地域の人も巻き込みたい」と話した。



当日スタッフ

◆イベントの裏側見たい

張建国さん(人文P前期1年)は中国からの留学生。今年4月、筑波大に編入学イベント当日は受け付けを待つ人の整理を担当し、母語を生かして案内することもある。これまでも東京五輪などスポーツのボランティアの経験があり、「イベントの裏側を見たい」と。試合の様子を確認しつつ、トランシーバーで他のスタッフ

◆医療現場での経験生かす

中葵さん(看護3年)は今年4月、筑波大に編入学した。「他学類の学生と関わりを持ちたい」と当日スタッフに応募した。編入学前の5年間は看護師として勤務しており、当日は救護室の業務を担当した。試合の様子を確認しつつ、トランシーバーで他のスタッフ



観客(8月7日)を誘導する中葵さん(看護3年)と張体太くん(看護3年)。

ツクリエイト

「TSUKUBA LIVE!」のロゴやポスター、SNS(ネット交流サービス)のコンテンツなどは、芸術専門学群の学生有志が昨年結成したクリエイティブチーム「ツクリエイト」がデザインした。ポスターでは赤色、黄色、そして筑波大のサブカラーである「フューチャーブルー」の三色を使い、それぞれをバスケット、パフォー



「TSUKUBA LIVE!」のポスター=筑波大アスレチックデパートメント提供

デザインで後押し

学生有志が着たTシャツにもプリントされた。また、SNSコンテンツも充実させた。「TSUKUBA LIVE!」の公式インスタグラムでは「マンガライブ」と題し、選手紹介や競技のルール説明をマンガ形式で投稿した。イベントの特設ウェブサイトに「バスケの推し選手診断」を掲載した。利用者は「好きな食べ物」「最初に食べるもの」「最後に食べるもの」など、6つの質問に答える。選手もあらかじめ質問に答えており、一致数が最も多い選手が「推し」と診断される。

試合中に流れる音楽も、ツクリエイトが作曲した。攻守の反転時や得点時など10種類が作られた。攻撃

Hello! 先端研究



鶴田文憲助教

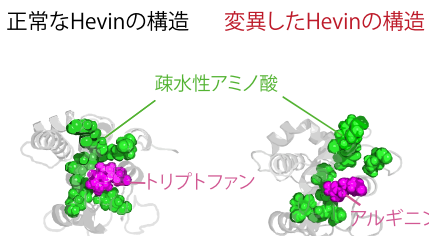
自閉スペクトラム症(ASD)は、発達障害の一つだ。コミュニケーションが苦手やこだわりが強いなどの特徴を持つ。発症率は約100人に1人で、脳機能障害が原因だとされる。発症リスクを高める遺伝子(責任遺伝子)の変異は数多く見つかっているが、それらの変異がASDをもたらすメカニズムはよく分かっていない。鶴田文憲助教(生環系)らは、ASD責任遺伝子(Hevin)の1つが作り出すHevinというたんぱく質に注目。Hevinに変異

ASD発症の仕組みに迫る

小胞体ストレスが引き金か

USP15と呼ばれるASD責任遺伝子の研究に取り組んできた。USP15を動かなくしたマウスの脳にある物質を調べると、浮かんたASD関連物質がHevinだ。Hevinは、神経細胞のシナプス結合を増強する働きを持つたんぱく質で、小胞体内に蓄積されやすいことが判明した。Hevinが異常蓄積すると、小胞体の機能が損なわれた「小胞体ストレス」状態になることも分かった。鶴田助教は続いて、ASD患者が多く発生している家系などの大規模遺

変異したHevinの疎水コアは崩壊している



(鶴田助教への取材を基に作成)

伝子解析データベースで、EFハンドモチーフの領域内でHevinの変異例がないか探した。すると、Hevinを構成する647番目のアミノ酸がトリプトファンからアルギニンに置き換わっている例(Hevin W647R)が見つかった。この変異体のHevinを培養細胞に入れたところ、EFハンドモチーフが欠損した変異体と同様に分泌効率が低下し、小胞体ストレスが誘導された。鶴田助教らが次に挑んだのが、Hevin変異体の構造解析だ。筑波大計算科学研究センターと共同で、たんぱ

外へ分泌がされにくくなる。今回の研究論文の筆頭著者、武富巧さん(HB P2年)は「今後は変異したHevinが神経活動や炎症応答に与える影響などを調べたい」と話す。

また、鶴田助教は「Hevinに変異があるマウスを使い、ASDのような症状を示すかどうか解析したい」と今後の展望を語った。(高元愛香 心理学科2年)

主催者の声

「TSUKUBA LIVE!」を企画・統括したADの米原博章スポーツAの形はとも単純ですが、分類では、そこからいろいろな情報を「読み取り」ます。スケッチでは線一本の違いでも、胞子などの形成過程では、重要な違いとなる場合があります。



米原博章 SA

コロナ禍以降、大学が開催する公式イベントで学群や学年関係なく、学生が楽しめるイベントはあまりなかった。入学時からコロナ禍の影響を受けてきた学生が多いと思うが、「TSUKUBA LIVE!」を通じて、大学のにぎわいを感じてもらえればと思います。

「TSUKUBA LIVE!」を通過して、大学のにぎわいを感じてもらえればと思います。

「大学のにぎわい創出」

イベントは始まったばかりで、認知度はまだまだ低い。「日本で一番スポーツを楽しめる大学」に向けて、今後も継続していきたい。「TSUKUBA LIVE!」は学生と一緒に作り上げていくもの。本気でチャレンジしたい人がいたら、ぜひADに声を掛けてほしい。



読者の皆様、ススキが風になびく季節となりました。いかがお過ごしですか。私の卒業後の進路はそれほど波乱に富んだものではないと思いますが、珍しい部分もあるのでは、ご紹介いたします。



国立科学博物館 植物研究部長 筑波実験植物園長 細矢 剛 さん

細矢 剛 さん

民間企業で16年も過ごした人間がアカデミアの世界に戻るのには珍しいと思いますが、その間の経験やいろいろな人との出会いが私の財産となっています。今日、社会では多様性が重視されており、国連の持続可能な開発

最後に、筑波実験植物園は、学園東大通りを挟んだ向かい側です。筑波大生は無料です。ぜひお越しください。また、生物に限らず、情報系でもアルバイトの機会(テーブルス関係など)がありますよ。(昭和60年度生物学類卒)

人生も生物も多様性は宝

菌類の魅力にハマった私は、故・橋啓介名誉教授の研究室で大学院の修士相当までを過ごし、製薬会社に就職しました。当時、製薬会社では微生物からの薬の探索

転換となり、カビとは一切関係ない、糖尿病薬の開発・販売戦略に携わることになりました。まるで転職したように思ったもので

その後、縁あって2004年に国立科学博物館に転職しました。民間企業で16年も過ごした人間がアカデミアの世界に戻るのには珍しいと思いますが、その間の経験やいろいろな人との出会いが私の財産となっています。

最後に、筑波実験植物園は、学園東大通りを挟んだ向かい側です。筑波大生は無料です。ぜひお越しください。また、生物に限らず、情報系でもアルバイトの機会(テーブルス関係など)がありますよ。(昭和60年度生物学類卒)

日本インカレ 男子リレー 40年ぶり2冠 高良 大会新と自己新で走幅跳優勝



走幅跳で大きな跳躍を見せる高良=陸上競技部提供

大学日本一を決める日本学生対校選手権(日本インカレ)が9月9〜11日、たけびしスタジアム京都(京都市右京区)で開かれた。筑波大は、高良彩花(体専4年)が女子走幅跳、鶴澤飛羽(同2年)が男子200mで優勝した。また、男子400mリレーと男子1600mリレーでも優勝した。対校戦では女子が総合2位、男子が総合3位となった。筑波大は男女合計19種目25人が入賞した。(細井真生)

陸上



女子走幅跳の高良は4本目の試技で6.45mを記録。1987年に群馬大の磯貝美奈子が出した6.46mの大会記録を35年ぶりに上回り、優勝を決めた。高校3年時に出した6.44mの自己記録も更新した。

高良は「大学4年間、自分だけ記録が伸びない。他の選手に追い越されたらどうしよう」と不安だったという。だが、100mや垂直跳びの記録は伸びていたことを自信に、最後の日本インカレに臨んだ。「目標通りの記録が出せ

男子団体総合 6年ぶりのメダル

深沢 女子個人総合優勝

全日本インカレ



男子団体総合で3位に入ったメンバー=体操競技部提供

全日本学生選手権(全日本インカレ)が8月18〜22日に四日市市総合体育館(三重県四日市市)で開かれた。男女共に1部で戦った筑波大は、男子が団体総合で14人中3位に入り、6年ぶりにメダルを獲得した。女子は昨年に続き団体総合で準優勝し、深沢こころ(体専3年)は個人総合で学生日本一に輝いた。(細井真生)

体操



団体総合は男女とも1チーム最大6人で、各種目上位5人の合計点で競う。選手は各種目1回しか演技できず、その得点が個人総合と種目別でも使われる。男子はゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目を演技する。団体銅メダルを獲得した筑波大は4年生4人、2年生2人の計6人で臨み、

407.757点を出した。昨年までは、3年連続4位に終わっていた。メダル獲得を目指して臨んだ大会では、鉄棒で2人に落下などの大きな失敗があった。終わってからは、5月の東日本インカレで5.200点差を付けられた2位の日本体育大に1.034点差まで迫っていた。しかし、一人一人のコンディションは、実は良くなかった。キャプテンの橋本(同4年)は鉄棒での突き指が影響し、最終種目のあん馬では「把手をうまく握れなかった」という。あん馬が得意な長崎裕人(同4年)も、あん馬の直前に腕が切れていた。選手たちは「団体戦だからこそ頑張れた」と口をそろえた。

橋本は「全員がチームで勝ちたいと強く思っていたからこそ表彰台に上がった」と振り返った。女子は跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目を演技する。個人総合で優勝した深沢は、種目別の1位はなかった。昨年は優勝した段違い平行棒でも、岸田未生子(同1年)に1位を譲り、2位に終わった。だが、全ての種目で大きなミスがない安定した演技を見せ、52.600点を出した。深沢は「54点台に乗せたかったが、調子を含め切れなかった。段違い平行棒では、冒頭の離れ技でバーを持つ位置が悪く、そこからうまく切り替えられなかった。来年の団体優勝に向け、技の完成度を高めた」と前を見据えた。

弘前市でイベント実施 キャンピング地への恩返し

野球



子供にバッティングを教える部員=硬式野球部提供

「野球の日 With 筑波大学」が青森県弘前市のはるか夢球場などで7月31日に開かれた。同日午前には筑波大硬式野球部と富士大とのオープン戦があり、同日午後には少年野球教室と同日午後には指導者講習会が実施された。硬式野球部と弘前市、青森県高等学校野球連盟普及振興委員会の共催で、弘前市のスポーツ振興と地域の交流を目的としたイベントだ。川村監督が県高野連普及振興委員のアドバイザーに就任したことをきっかけに、硬式野球部は2019年から毎夏、同市でキャンプを実施している。これに合わせイベントも始まったが、20、21年はコロナ禍で開催が見送られていた。少年野球教室には、幼稚園児から小学6年生までの男女約40人が参加。体力や筋力差を考慮し、小学2年生以下と3年生以上の2グループに分けて実施した。硬式野球部は3年生以上を担当し、キャッチボールやノック、バッティングなど基礎練習の後、ミニゲームを実施した。その後、子供たちを2チームに分け、本塁と二塁をそれぞれからスタートしてリレーをする「ベースランニング競走」をした。メニューを考案した部員の一人、仲井淳人内野手(体専4年)は「攻撃・守備・走塁がバランスよく練習できるようにメニューを組んだ。子供たちが理解しやすいよう指導するのは大変だったが、楽しんでもらえ

川合 ベスト8入賞 3人が優秀選手に選出

剣道の女子日本一を決める全日本女子選手権が9月4日、ジェイテクトアリーナ奈良(奈良県橿原市)で開かれた。静岡県代表として出場した川合芳奈(体専2年)がベスト8に入った。また、茨城県代表の笠日向子(同2年)と長崎県代表の岩本胡々(同2年)はベスト16に入った。いずれも大会の優秀選手に選ばれた。(福澤航介)

剣道



勝者を決める。川合は、初戦でメンの本勝ちを収めると、2回戦では、日ごろの稽古で竹刀を交える栃木県代表の竹中し、トナメント方式で優った。川合は「準々決勝の延長戦では、集中力が切れてしまった。得意なメンを1回戦から打ち切ることで流れに乗り、ベスト8に入ったのは良かった」と話した。

後期初戦 東洋大に勝利 岩本が2得点

関東大学リーグ戦1部は8月6日に後期がスタートした。前期を12大学中8位で折り返した筑波大は、後期の初戦となった東洋大戦に2-1で勝利。続く明治大戦は0-1で敗れたものの、9月22日現在で7位に順位を上げた。前期はMFを務めた岩本翔(体専4年)がFW、CBだった森侑里(同4年)がボランチで出場するなど新しい布陣で試合に臨んでいる。(細井真生)

サッカー



前期の東洋大戦は1-2で敗れているが、後期の初戦に先制点を挙げた。DF福井啓太(同2年)のスルーパスにMF和田育(同4年)が走って追いつき、右サイドからクロスボールを出した。それを岩本が胸でトラップし、ゴール左端へシュートを決めた。同26分には相手のミッド



東洋大戦で2得点を挙げた岩本=筑波大学蹴球部提供

ルシュートをGK高山沙生(同3年)が体を投げつけて逃げ切った。この試合で2得点を挙げた岩本について、小井土正亮監督(体専系助教)は「シューターの中には、前準は1-1で折り返した。後半は、開始11分にDF三浦雅人(同4年)が出した左サイドからのクロスに、またも岩本が合わせてシュートを決めた。その後は相手にシュート

おことわり

サッカーのポジションについて今後、以下のような略称を使用します。FW(フォワード) MF(ミッドフィールダー) DF(ディフェンダー) CB(センターバック) SB(サイドバック) GK(ゴールキーパー)

競泳インカレ 間島は100平で初優勝 飯塚 100バタフライ2連覇



100平泳ぎで初優勝した間島(8月29日、東京辰巳国際水泳場で)

【東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)で及川千翔II人文学類3年、写真も。12面に関連写真】競泳の大学日本一を決める日本学生選手権(インカレ)が8月28、31日に行われた。女子100バタフライでは飯塚千遥(体専4年)が58秒40で同種目2連覇。男子100平泳ぎでは間島亮太郎(同4年)が1分00秒00で初優勝を果たすなど、筑波大は計9種目で12人が入賞した。総合成績は男子が7位相当、女子が8位相当だったが、学校対抗の対象外の「個人参加校」としての出場だったため、8位までで与えられる来年のインカレ団体出場権は獲得できなかった。

水泳競技

女子

30日の100バタフライ予選、飯塚は59秒11で1位タイ通過した。決勝は前半50秒を3位で折り返したが、後半は持ち前の追い上げを見せ、58秒40で2連覇を果した。飯塚は「2連覇は目標であり、周りから期待されていたので達成できて良かった。予選で感覚をつかみ、決勝も焦らず自分のペースができた」と語った。初日の28日は、50自由形決勝で土井香凛(同3年)が6位、込山暉(同4年)が7位とチームを勢いづけた。

29日の100平泳ぎ予選では、間島が自己ベストを0.32秒更新する59秒90を記録。2位に0.69秒差をつけ、予選を1位通過した。決勝でも1分00秒00で初優勝を飾った。筑波大の競泳男子で個人種目優勝は14年ぶりだった。大学入学後、着実にタイムを縮めてきた間島。昨年のインカレ同種目では表彰台まであと0.13秒の4位で苦杯をなめた。間島は「決勝では、東京五輪代表で慶應義塾大の左藤翔馬選手など小学生の頃から憧れた選手と同じレースを泳げて良かった。今大会で引退したが、大学最後に優勝できてうれしい」と話した。

記者の目

観客席で見守る部員に向けて、プールから手を振った。ガッツポーズをしたりする選手たち。部員は応援用のスティックバルーンを振って応援。筑波大の戦いぶりを見て、チームのまとまりを感じた。実は筑波大は今大会、団体出場校として戦うことができない状況で試合に臨んでいた。コロナ感染者が出たことで、昨年8月の関東学生選手権(関カレ)を欠場。関カレでの得点が足りず、今年度は日本水泳連盟学生委員会の関東支部1部から2部に降格したからだ。

3年連続で準優勝

25連覇の日本体育大に敗れる 水球インカレ



キャプテンの眞板=水泳部提供

【6、7面参照】水球の大学日本一を決める日本学生選手権(インカレ)が8月30日、9月1日、横浜国際プール(横浜市都筑区)で開かれた。1日の決勝で日本体育大と対戦した筑波大は11-24で敗れ、2020年から3大会連続で準優勝となった。日本体育大は25連覇で46回目の優勝を果たし、強さを見せつけた。(及川千翔)

水泳競技

大会はトーナメント戦で行われた。筑波大は8月30日の1回戦で、びわこ成蹊スポーツ大に26-6で快勝。31日の2回戦では相手の中央大に一時リードを許すも9-7で逆転勝ちした。同日の準決勝は明治大を14-8を下して決勝に駒を進めた。決勝の相手となった日本体育大との対戦は今季4度目。5-6月の関東学生リーグ戦の予選、決勝と8月に行われた「TSUKUBA LIVE!」では全て敗れていた。また昨年の日本選手権初戦では、10-11で惜敗していた。試合開始16秒、日本体育大の畑翔太郎に先制点を許すと、同51秒には世界選手権日本代表の日本体育大、荻原大地にもシュートを決められた。2点を追う筑波大は同2分33秒に、同じく世界選手権代表でキャプテンの眞板悠貴(体専4年)が1点返すなど反撃。その後は一進一退の攻防を見せたが、第1ピリオドの残り3分間に4連続失点し、2-7と離された。第2ピリオドは、開始1分26秒に世界選手権代表の日本体育大、渡邊太陽がこの日3得点を奪取。筑波大は同2分42秒に眞板が3回目のファウルで退水したが、同2分59秒に竹内遥音(同2年)が相手ディフェンスをかわしゴールを決めた。しかし、その後は相手のカウンター攻撃を2回決められ、3-10で試合を折り返した。続く第3ピリオドでも流れを変えられず7-16、第4ピリオドを終了し11-24で敗れた。

眞板は「途中で退水があり、最後までコートで戦えなかったのが悔しい。相手のカウンターは警戒していたが、スピードについていけなかった。序盤の立ち上がりは悪かったが、第1ピリオド後半の大量失点が響いた」と振り返る。筑波大は、今大会で決勝に進出したチームに与えられる10月7、9日の日本選手権出場権を獲得した。同大会が4年生の引退試合となる。眞板は「守備の連携を強化し、攻撃では相手にボールを奪う隙を与えないようにしたい。日本体育大と日本選手権で対戦することにしたら、今度こそ勝つんだ」と意気込んだ。

スポーツ顔

卓球

ラリーの中で相手にわざと強打させるような展開を作り、その球の勢いを利用して強く打ち返すカウンター攻撃が得意だ。卓球を始めたころから変わらぬこのプレースタイルで、春季関東学生リーグ戦では、最優秀新人賞を獲得した。



春季関東学生リーグ戦最優秀新人賞 田原 翔太 (体専1年)

高い選手と切磋琢磨できる環境が上達への近道になると考えたからだ。同校では中学時代から高校生との実戦練習を多く積んだ。球の威力で勝る相手に、コース取りを考えて勝負するスタイルを確立し、3年時の全国中学校大会団体戦で準優勝を挙げた。最高学年になると部員

勝を果した。高校では1年時からレギュラーとなり、6月の全九州高校大会団体戦決勝のシングルスタダブルに出場。だが、いずれも敗れてチーム優勝を逃した。「自分のせいでチームが負けた。人生で最も悔しかった」と語る。相手と対戦。シングルスダブルともにリベンジを果たし、団体戦でベスト8、個人戦ではベスト16に進出した。2年生になると、コロナ禍で練習が3日に一回しかできない時期があった。しかし、空いた時間をムダにせず、チームの士気を高めた。「この大会で優勝したい」という。

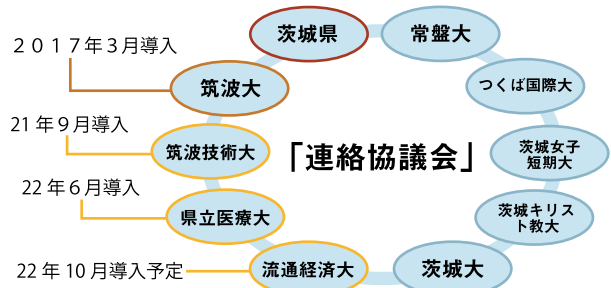
心技体そろえ日本の頂点へ
今年10月の全日本大学総合選手権では、シングルス・ダブルともに優勝を狙う。そして、全日本選手権上位進出も見据えている。(藤岡遥菜II工学システム学類1年 写真は卓球部提供)

逆境バネに躍進

「逆境的な状況にこそ、選手は伸びる」と語る。昨年10月に新チームが発足。男子主将になった小林拓(体専4年)は「目標をどう定めるか悩んだが、どんな困難にも「逃げない」との思いから「不撓不屈」をチームスローガンにした。部としても「やっやあぞ」と前向きになったと語る。今年4月に1年生12人が入部。「種目数が多い自由形」の伸びは、かなり評価されている。角川コーチは「選手一人一人が力をつけたことで、例年の結果につながった。例年より選手のレベルも高く、今大会に調子を合わせ

形を専門とする選手が多くなり、学年を超えて競い合う場面が増えた。部の雰囲気も明るくなり、練習でのパフォーマンスも上がった」と角川コーチは振り返る。インカレ直前の関カレでは男女とも2部で総合優勝し、自己新を出した選手も多かった。角川コーチは「選手一人一人が力をつけたことで、例年の結果につながった。例年より選手のレベルも高く、今大会に調子を合わせ

茨城県と県内9大学の連携体制



- ・21年8月、12月に勉強会実施
- ・残りの5大学も22年度中のガイドライン導入を目指す

(取材を基に作成)

県は昨年8月、性的少数者の大学生の生活や就職活動の支援につなげるため、筑波大や茨城大など県内9大学と「連絡協議会」を結成した。

現在は、参加する9大学全てが性的少数者への対応方針を定めたガイドラインを導入することを目指して



性的多様性 SOGI/LGBT+ モデルケース

大学とも連携ガイドライン広げる 筑波大のノウハウ生かし

「下面参照」いばらきパートナーシップ宣誓制度の導入から3年余り。制度を持つ自治体数は23(2019年7月1日時点)から約10倍の224に増えた。茨城県は、県内の大学との連携も進めている。自治体が性的少数者への取り組みを拡大する意義と今後の展望、大学との関わりを考える。(天野幸太 後藤佳佳、高元聖香)

「未来社会デザイン棟」模型展示

宿舍建設に学生の声 生かす



進藤さん、藤本さん、増田さんが作成した「Planet Plaza」(7月29日、本部棟1階で)

学生有志が制作した「未来社会デザイン棟(仮称)」の設計図や模型が7月25日(8月5日、本部棟1階ホールラウンジ)に展示された。筑波大は2025~29年にかけて、宿舎リニューアルを計画している。未来社会デザイン棟は並砂学生宿舎の共用棟の裏側部分に建設される予定で、23年の着工を目指す。今回の展示は、その計画開始にあたり、学生の意見を聞くために企画された。

(山田優真 写真)

同棟は、「学生同士のコミュニケーションの促進の場」「地域との交流の場」「企業との連携の場」「主体性・社会性を育成する場」「新たな発想を生み出す場」の五つをコンセプトとする。

今回の企画では、芸術専門学群や社会学部学位プログラムなどで建築を学ぶ有志学生4チーム計16人が出展した。凸凹した壁面が象徴的な建物や、夜道を照らすために道路沿いの壁面をガラス張りにした建物の模

型などが並んだ。進藤里沙さん(芸専3年)、藤本泰成さん(同)、増田胡桃さん(同)のチームは、筑波大生が集まる小惑星「をイメージし、「Planet Plaza」と題した模型を制作した。2階建てと4階建ての2棟が内側の広場を囲むようにし字型に建つ。リサイクルショップやレストラン、カフェホテルなどを設置し、筑波大生の「衣食住」をサポートする。

カプセルホテルは自宅から通う学生が対象だ。提案した藤本さんは「普段は車で40分かけて大学に通っている。作品制作などで夜遅くなった時に泊まれる場所

が欲しいと考えたと話す。また、企業や地域の人を迎える場や学生同士の会話の場など用途に合わせた3種類のロビーを設けた。未来社会デザイン棟のコンセプトにある、地域や企業、学生同士の交流の場として機能することを狙った。

未来社会デザイン棟の設計は、外注する予定だ。学生部の藤元健史課長(プロシエクト推進担当)は、「夜道を照らすための設計やカプセルホテルなど、学生が気に掛けている点があった。良いアイデアは未来社会デザイン棟のみならず今後の宿舎リニューアル全体の参考にしていきたい」と語った。

世界の教室から

私は昨年10月からフランスのパリ・ラウレット建築学校に交換留学し、今年7月からはアフリカ西部に位置するベナンの建築事務所でインターンをしています。この留学を生かし、将来はアフリカ中央部にあるコンゴ民主共和国(以下コンゴ)で都市計画の仕事に取り組みつもりです。



コンゴはベルギーの旧植民地で、フランス語が公用語。植民地時代に建設された都市もフランスの影響を受けています。そのため、まずフランスで、不可分の関係にある建築と都市計画を学び、そこで勉強したことを実践するためにインターンを始めました。

コンゴは治安状況が悪く大学からの渡航許可が下りませんが、ベナンは生活環境が良く、ぜひこの機会にコンゴに行くことを実現したいです。

コンゴは治安状況が悪く大学からの渡航許可が下りませんが、ベナンは生活環境が良く、ぜひこの機会にコンゴに行くことを実現したいです。

「婚姻の平等」議論進めて

性的少数者の権利保障のために自治体ができることは何か。婚姻の平等(同性間の婚姻の法制化)を目指す公益社団法人「Marriage For All Japan」結婚の自由をすべての人に」代表理事の寺原真希子弁護士に聞いた。

性的少数者は、人口の少ない地方では特に可視化されづらい。パートナーシップ制度を設け、自治体が存在を公認することには大きな意義がある。都道府県レベルで協力が進めば市民やメディアの注目も集まる。だが同制度に法的拘束力

はなく、婚姻による社会的承認と次元が異なる。国は自治体任せにせず婚姻の平等の議論を進めるべきだ。パートナーシップ制度以外で自治体ができることとして、地方議会から国会への意見書提出がある。選択的夫婦別姓を求める意見書は350件近く提出されているが、同性間の婚姻に関する意見書はほとんどない。動きの加速を期待する。

格差は、何気ない日常に散りばめられている。19年に茨城県のパートナーシップ制度利用第一号となった滑川友理・水戸市議は、友人から「夫の会社を配偶者枠で受けた」と聞き、婚姻関係との格差を感じたという。配偶者の扶養に入った場合の社会保険料免除や、会社が従業員の家族向けに提供する健康診断は、限られた人の特権で、同性パートナーに提供されることは通常ない。

周囲にも、県の取り組みを知らない筑波大生はまだ多い。少しでも多くの人の関心を高めるため、今後とも報じ続けたい。(後藤佳佳)

中西教授(人社系) 横浜で講演

歴史地理学が専門の中西月20日、「近代日本における鳥瞰図の系譜」をテーマに、神奈川県立歴史博物館で講演した。

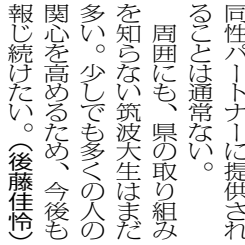
中西教授によれば、近代の代表的な鳥瞰図師としてよく取り上げられるのは、幕末から明治初期に活躍した歌川貞秀と天正昭和の2人だ。

中西教授は講演で、「実は2人の間に、松井天山がいる。明治期には松島真景図の作成に関与したとみられ、大正期には独自の画風を確立した」と解説した。

横浜市の70代女性は「元々地図に関心があり、貞秀と初三郎は知っていたが、天山は初めて知った。講演を聞き、地図に一層興味が湧いた」と話した。(松村英美)



寺原弁護士は、取材を通じて「なぜ性的少数者の問題に関心があるのか」と知人などから時折聞かれる。「当事者でもないのに」という問いが言外にある。だから「派」とされる側が無関心なせいで、問題の認知度が高まらず、格差の温存につながっている。取材を通じてそう気づいたからだ。



鳥瞰図の説明をする中西僚太郎教授(8月20日、神奈川県立歴史博物館で) = 及川千翔撮影

近代によく作られた鳥瞰図は、鳥の視点で上空から地表を斜めに見下ろすように描いた地図。明治期には社寺や景勝地、温泉地などが描かれることが多く、観光案内や土産品の役割を果たした。

中西教授は講演で、「近代の代表的な鳥瞰図師としてよく取り上げられるのは、幕末から明治初期に活躍した歌川貞秀と天正昭和の2人だ。中西教授は講演で、「実は2人の間に、松井天山がいる。明治期には松島真景図の作成に関与したとみられ、大正期には独自の画風を確立した」と解説した。

横浜市の70代女性は「元々地図に関心があり、貞秀と初三郎は知っていたが、天山は初めて知った。講演を聞き、地図に一層興味が湧いた」と話した。(松村英美)

春日エリアに無人店舗 カップ麺や文房具 24時間買える



カップ麺や文房具、2リットルの飲料など120商品が陳列された棚 (9月5日、春日エリアで)

カスミ(本社・つくば市西大橋)が運営する無人店舗「オフィススマートショップ(オフィススマ)」が9月5日、春日エリア(7B棟1階エントランス)と本部エリア(本部棟1階ホールラウンジ)に試験設置された。棟に入れる時間帯であればいつでも利用可能で、カスミの店舗と同価格で購入できる。春日エリアには売店がなく、近隣にコンビニエンスストアもなかった。

「オフィススマ」は茨城県 客は、専用アプリ「スキヤ」など63カ所に設置されている。春日エリアでは飲料や菓子、インスタント食品など120商品が二つの棚に陳列されている。利用

春日エリアへの設置は学生の要望で実現した。同エリアを利用する情報メディアや創成学類と知識情報・図書館学類の学生で構成するクラス代表者連絡会では、売店設置を求める声が長年上がっていたという。

歳森敦・図書館情報メディア系長が「オフィススマ」の存在を知り、図書館情報エリア支援室経由で学生生活課に相談したことが、設置のきっかけとなった。

カスミは今年8月、同エリアを利用する学生や教職員にアンケートを実施。そのニーズに合わせて販売商品を検討し、120商品のうち30品目を既定の物から変更した。

カスミの担当者は「宿舎が近く、生活に使う2分の水やお茶の要望が多かった。文房具の設置は学生生活で、今後も利用者の希望に合わせて商品を充実させていきたい」と語った。

この日初めて「オフィススマ」を利用した大学院生の男性は「研究室が春日エリアにある。夜遅くまで研究室に籠もる時もあり、とてもありがたい」と話した。

「オフィススマ」は11月末まで試用期間とし、利用状況などを見ながら設置の継続が判断される。

ポスターデザイン募集 開学50周年の周知に活用

筑波大は来年創設51周年開学50周年を迎える。その記念事業の一環として、この節目を学内外に広く周知するポスターのデザインを募集している。

記念事業スローガンは「DESIGN THE FUTURE, TOGETHER.」ともに拓く未来。イラスト、写真などポスターのデザイン手法は自由だが、このスローガンと筑波大が制作した「創基151年開学50周年記念ロゴマーク」を必ず入れる必要がある。

教職員、学生、地域住民など誰でも応募できる。応募点数の上限もなく、グループでの応募もできる。審査委員が応募作品の中から最優秀賞1点、優秀賞3点、入賞5点を決定し、それぞれ1万円、5000円、3000円の図書カードを贈る。結果は9月2日に開設された「創基151年開学50周年記念特設ウェブサイト」で11月

短期雇用の時給40円増 引き上げは5年連続

筑波大は10月1日から短期雇用の時給を引き上げ、時給引き上げは5年連続となる。筑波キャンパスなど茨城県内では40円増の920円に、東京キャンパスなど東京都内では30円増の1080円とする。

筑波大の短期雇用は、1カ月以内の期間で採用する雇用形態だ。大学説明会やシンポジウムの運営補助、教員の事務補助、入試業務補助などの業務がある。勤務場所は両キャンパスや附属病院などで、主に学生が雇用されている。

「5面参照」日本での一番のチームになる！」1位で通過した「UNIDOL(ユニドル)2022 Summer」関東予選の舞台で、リーダーの松田久良さん(体専3年)が高々と宣言した。決勝戦の結果は有言実行の優勝。アイドルコンビダンスグループ「Bombs!」は全国の頂点に立った。

現在42人が所属し、36人が舞台に立つ。裏方のメンバー以外も、衣装製作や広報活動を行う。

Bombs!の活動の幅は広い。今夏はつくばセンター広場で開催された「つくばクラフトビアフェスト」や筑波大主催

HPVワクチンセミナー 「当事者は私たち」

子宮頸がん(子宮)の原因となるウイルスの感染予防効果があるHPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンの安全性や有効性を考えるセミナー「大きな子宮を守る」が、9月9日、オンライン開催された。筑波大の学生生活課が主催。

プログラム「T-FACT」の一環で、坂本菜生さん(看護3年)が企画し、18人が参加した。

HPVワクチンは、2013年4月、定期接種の対象となり、小学6年、高校1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

だが、今年4月、9年ぶりに再開された。症状と接種に因果関係は認められず、一方で接種の有効性を示すデータが集まった。この間に対象者の接種率は70%台から10%未満に低下した。

セミナーは、将来のライフプランについて考えることから始まった。参加者は、自身のキャリアプランや結婚・妊娠の時期について考えた。その上で坂本さんたちは、ライフプランを大きく変えてしまう疾患として子宮頸がんを挙げた。

セミナー後半では、HPVワクチンのキャッチアップ接種が紹介された。ワクチン接種を逃した女性を救済するために設けられたと語った。

「大きな子宮を守る」の告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。



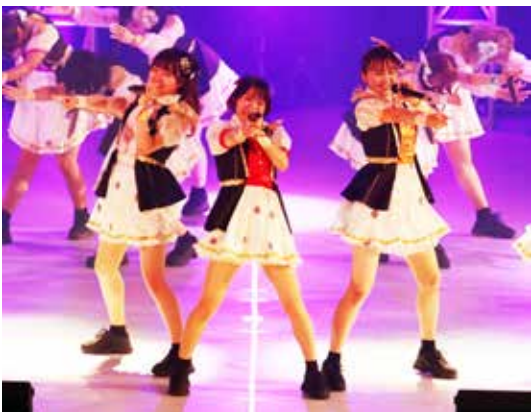
告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。



センターを飾る歴代リーダー。左から松田さん、深津さん、幸坂さん (8月21日、NHKホールで)

Bombs!

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

告知ポスターは、坂本さん、高橋1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

Who's Who?

エリート官僚から学生に

金井 達也 さん (国際日本研究P 後期2年)



フィリピンの子供たちと交流する金井さん(中央) = 本人提供
大学院進学を本格的に考えるようになった

「日本に来てくれた外国人みんなを笑顔にしたい」
財務省を60歳で退職後の2020年4月、そんな思いを胸に、筑波大の博士課程大学院生として新たな人生のスタートを切った。計18年間の海外勤務を経験し、さまざまな国籍、国籍の人が互いに尊重し合いながら協力する「ダイバーシティ

環境」の重要性を痛感したからだ。
現在は明石純一教授(人文学部)の研究室に所属し、日本にダイバーシティ環境を根付かせる第一歩として、コロナ禍における留学生の現状を研究している。

「浮かんできたのは、精神面や経済面で悩みを抱える姿だ。」「部屋にやる気が出ない」「アルバイトがなくなった」などの声が寄せられ、研究が思うように進まないという訴えもあった。

「日本の外国人材のために貢献したい」という漠然としていた研究テーマを受け入れてくれたという。キャンパスの環境や社会人大学院生向けの制度が充実していたこともあり、筑波大入学を決断した。

フィリピンでは日本と異なり、多少の遅刻は問題としない文化がある。また、人前で怒ることも厳禁だった。それを知らなかった。「ダイバーシティ環境づくりには、相手の側から見る意識だと実感した出来事だった。」

こうして海外での豊富な経験をもとに、筑波大生向けの講演を行うことも多い学生には、海外で働くことは、難しいことではない。日本とは違う価値観との出会いも面白い」とも伝えている。「グローバルな視点を持つ学生を増やして、筑波大や社会に貢献したい」からだ。

エリート官僚から大学院生に転身して3年余り。「日本では、またダイバーシティ環境が実現できていない。実現のために、小さなことから自分ができることを見つけ、行動していきたい」。その意欲は勢いを増している。

外国人が笑顔で暮らせる社会に パワフルに学び深める 63 歳

「日本の外国人材のために貢献したい」という漠然としていた研究テーマを受け入れてくれたという。キャンパスの環境や社会人大学院生向けの制度が充実していたこともあり、筑波大入学を決断した。

フィリピンでは日本と異なり、多少の遅刻は問題としない文化がある。また、人前で怒ることも厳禁だった。それを知らなかった。「ダイバーシティ環境づくりには、相手の側から見る意識だと実感した出来事だった。」

こうして海外での豊富な経験をもとに、筑波大生向けの講演を行うことも多い学生には、海外で働くことは、難しいことではない。日本とは違う価値観との出会いも面白い」とも伝えている。「グローバルな視点を持つ学生を増やして、筑波大や社会に貢献したい」からだ。

エリート官僚から大学院生に転身して3年余り。「日本では、またダイバーシティ環境が実現できていない。実現のために、小さなことから自分ができることを見つけ、行動していきたい」。その意欲は勢いを増している。

ウクライナの学生が表敬訪問



来日したウクライナ人学生10人と永田恭介学長ら(9月9日、本部棟で) = 寺尾優汰撮影

1面へ

学内総合

吹奏楽団定期演奏会



リハーサルで演奏する団員ら(8月24日、ノバホールで) = 太田碧撮影

5面へ

学芸

競泳 インカレ



女子100mバタフライを2連覇し、笑顔を見せる飯塚(8月30日、東京辰巳国際水泳場で) = 及川千翔撮影

9面へ

スポーツ

カスミ無人店舗 オープン



無人店舗で買い物する歳森敦・図書館情報メディア系長(中央)(9月5日、春日エリアで) = 天野隼太撮影

11面へ

学生生活

編集後記

その後も確認作業に追われる。明るい舞台で輝く学生と、パソコンの前で時が流れる自分たちを比べていまる。それでも、記事が形になり、多くの人に見てもらえる達成感は大きく、2人も大学で続ける理由の一つです。輝く舞台があったとしても、多くの努力があるのです。「新聞紙上」が私たちの舞台。そんな結論に至りました。今号では、学生によるイベント(5面)やTSUKUBA LIVE!の舞台裏(6、7面)に迫りました。本紙を通じて、筑波大生の姿や思いを感じていただけたらうれしいです。(山田優昇)比較文化学類3年

【編集・発行】
筑波大学新聞編集委員会
▽委員長 逸村裕(図書館情報メディア系・教授)
▽副委員長 清水諭(体育系・教授)
▽委員 山田優昇(比較文化学類3年)
▽委員 天野隼太(比較文化学類3年)
ほか編集部員18人

次号は

11月4日(金)

発行予定です

発行所 筑波大学
印刷 リフォーム